



2月の園だより

令和6年2月1日

目黒区立八雲保育園 園長

～友達への思いが広がるごっこ遊びの世界～

寒さも厳しくなっていますが、子どもたちは室内や戸外で元気に過ごしています。先月には3、4、5歳児クラスのお店やさんごっこがありました。日頃からオープンスペースや園庭で関わりがある子どもたちですが、準備の時から自分たちで考えたお店にたくさんの人たちが来てくれることを楽しみにしていました。5歳児クラスのアナウンスで開店すると「いらっしゃいませ」の音が響き渡ります。3歳児クラスをのぞいてみると、チョコバナナやクレープ等、美味しそうな食べ物と並んでいました。「どれがいいですか」「おすすめはこれです」と笑顔で対応してくれるので「カードは使えますか」とお願いすると「ペンぎん（組）カードならいいです。ピットして」と教えてくれました。ふと周りを見ると、2歳児がアイスクリーム屋の前でじっと立ちすくんでいました。販売している3歳児も声をかけたものの答えが返ってこないのが困っていると「何が欲しい、これかな」とお客さんに来ていた4歳児がさりげなく声をかけていました。ほっとした表情の二人に「2個選んでください」「よかったね、どれにしようか」とやりとりも続きます。満足そうに2個のアイスをもらう2歳児に「そこで食べていいんだよ」と最後まで寄り添っていました。異年齢児が遊びの中で自然と相手の思いを考えたり、感じたりしながら関わり合えるごっこ遊びの世界をこれからも保育の中で楽しんでいきたいと思えます。

各クラスの懇談会が始まりました。保護者のみなさまからは「保育園の様子がよくわかり子どもの話とつながりました」「子どもたちが好きな遊びを知りたくなりました」など感想もいただいています。子どもたちの一年間の成長を映像や懇談の中で確かめ合える機会にもなっていますのでぜひ、ご参加ください。

2月の行事予定

節分 全園児
身体計測 避難訓練

3月の行事予定

卒園お祝い会 5歳児
なかよし散歩 3・4・5歳児
移動日 全園児
お別れ会 全園児
身体計測 避難訓練

クラス懇談会のお知らせ

0歳児クラス
4歳児クラス
3歳児クラス
0歳児クラスのみ 16:30～17:30
他クラス 16:30～18:00
(年間予定表とは時間が異なります)



*****調理室より*****

おやつに提供するリンゴの皮むきとカットを子どもたちの前で行いました。クルクルと皮をむいていくと「色が変わった」「もう全部むいたの」と不思議そうに興味を示していました。カットしていくと、いつも食べているリンゴの形になります。それを見た子どもたちは「いつも食べてるやつだ」と嬉しそうにしていました。早く食べたくておやつを勢いよく食べる子や嬉しくて笑みを抑えきれない子、恥ずかしがる子など、様々な反応が見られましたが、みんなが切りたてのリンゴを両手で大事そうに受け取り、美味しそうに食べていました。これからも子どもたちが食べるのが大好きになるように興味関心が持てるような食育活動をしていきたいと思えます。



こんなことして遊ぶのが楽しいな！！

～乳児クラス～

めだか組（0歳児クラス）

真似っこ遊びが好きな子どもたちは、ままごとコーナーに移動するとチェーンやお手玉などをお皿に入れて、つまむと口元に運んでパクパクと食べる真似をしています。最近では友達にも食べさせてあげて、お互いにお辞儀をするかわいい姿が見られます。保育士が子どもに「ジュース飲みたいな」とリクエストすると、コップとジュースを持ってきて、ジュースの飲み口を下に傾けて、コップに注ぐ姿も見られ「パン（カン）パーイ」と打ち合わせて嬉しそうです。また、お出かけごっこも大好きで、バックの中にお手玉やチェーンなど入れては腕にかけますが、一つのバックでは物足りず、三つくらい持ち保育士の「行ってらっしゃい」の声に満足そうに手を振って出かけていきます。その姿を見てみんなが同じように準備をして部屋中を歩いています。最近、友達に興味を示し真似したり同じ空間で遊んだりする姿が見られるようになってきています。保育士も一緒に遊びながら、友達と関わって遊ぶ楽しさを少しずつ感じられるようにしていきたいと思います。



あひる組（1歳児クラス）

アスレチックの空間で、一人の子が風呂マットを運び柱に立てかけ家を作っていました。そこへ友達が入ろうとすると「はいっちゃダメ」と言っていた子がいました。少ししてから保育士と友達が同じ家に行くと「ぴんぼーん。素敵なお家なのでお客さんが遊びにきましたよ。入れてくれますか」と言うと、入れたくなかった気持ちがほぐれ「いいですよー」とマットで作ったドアを開けてくれました。そのやりとりを見た子どもたちが“なんだろう”と次々とやってきて「ぴんぼーん」と言って開けてもらっては、中に入っていきます。気付くとアスレチックの中はぎゅうぎゅうになりとっても狭そうですが、子どもたちは顔を見合わせ嬉しそうに笑っていました。家の中ではご飯を作ったり砂場で作った料理を運んできたりしています。時々保育士がオバケになって覗くと一斉に飛び出し、楽しそうに逃げていました。保育士や友達と簡単なやりとりをしながら「友達と同じが楽しい」気持ちをたくさん感じられるようにしていきます。



らっこ組（2歳児クラス）

自分の経験したことを再現したり、憧れのものになりきって遊ぶ姿が多く見られるようになりました。「痛いところはないですか？お口開けてくださーい」と歯医者さんに早変わりすると、友達と二人で向かい合って座り、人形を膝の上に寝かせ、スプーンを器具に見立てて口の中をチェックしています。「はいおしまいです」と診察が終わると、お母さん役の子どもが保育士に「この子、よく頑張ったよ」と言いながら頭を撫でてあげていました。保育士も「よく頑張ったね」と同じように撫でてあげるとにっこり嬉しそうです。友達と同じようなイメージを持ってやりとりしながらごっこ遊びをする姿が増えてきています。保育士も子どもの再現したい世界を感じとりながらこれからも友達と一緒に遊ぶ楽しさやなりきる面白さを繰り返し経験できるように関わっていきます。

